

サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	市民部 (スポーツ振興課)	
2 協議事項 (案件名)	小中学校のスポーツ施設利用スマート化について	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校 140 か所で学校開放事業を展開 ・登録団体である約 1,400 団体が利用 (2021 実績: 129 万人/年) ・各施設利用運営委員会 (学校) 単位のルールにより運用しており、一連の利用方法が異なる。 ・利用団体は、予約調整、鍵の受取り・返却、紙媒体による申込み・報告等の負担 ・委員会は、事務の大半を学校職員が対応 (一部、委託・体育振興会が実施) ・学校開放事業スマート化の早期本格稼働 (2021 年 9 月議会松下議員答弁、2022 年 5 月議会斉藤議員答弁) 	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度スマート化のモデル実証を実施 (3 か所) <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ拠点として利用者の利便性向上と更なる利用拡大 ・教職員の働き方改革への対応 ・区の見直しを見据えた運用環境の統一化 <p>【実証内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムによる予約及びキャッシュレス化 ・利用者へのコード付与によるキーレス管理 (体育館・夜間照明等) ・申込み・報告のペーパーレス化 ・夜間照明の LED 化 (リース契約) に向けた検証 <p>【実証結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度、利便性の向上とともに 75.8% の団体が「満足」「やや満足」との回答。(33 団体中) ・教職員からは、業務や現金扱いが無くなったことから評価は高かった。 <p>【課題】 (実施校 3 か所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済手法の拡大 	
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年までに市内の学校開放小中学校 140 か所への導入拡大 	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<p>①全校導入へ向けた利用学校拡大の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用運営委員会への説明、利用団体への動作支援 (1,400 団体) ・機器設置のための現地調査、機器設置 (140 か所) <p>②導入スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度中に約 1,400 団体へ説明 (市)、順次、140 か所現地調査 (事業者) 2022 年 11 月議会 債務負担行為を要求 2023 年 3 月 70 か所への導入 2023 年 9 月 70 か所への導入 	
6 結果	<ul style="list-style-type: none"> ■提案どおり進める □提案内容を一部見直して進める □再度、調査研究等を行い検討 □その他 	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済の手法拡大を検討すること ・教育委員会と連携し、学校本体や放課後児童会での導入についても検討すること
7 その他		